

がんプロフェッショナル養成プラン「実践的・横断的がん生涯教育センター」

平成 22 年度 がん看護インテンシブコースについて

がん看護インテンシブコース

職業人としての実践能力の向上をめざしている者に対して、学際的探究によりがん看護のジェネラリストとしての活動基盤の強化、および、専門職として自律的に看護の実践ができる能力の開発に向けて、がん看護のジェネラリストとしての実践力アップを目的とする。

教育目標

がん看護領域における質の高い看護の実践に関わる知識の系統的理解、アセスメントスキル、アセスメントに基づく効果的な看護ケアの実践スキル、症状マネジメントスキル、看護ケアの評価スキル、などについて各自が設定した自己のスキルアップ目標を達成する。

がん看護インテンシブコースは、2つの研修コースを開講する。

コース名		責任者	所 属
がん看護インテンシブコース		(全体) 浅野 美知恵	大学院医療看護学研究科がん看護学 がん看護専門看護師養成コース担当、 先任准教授
コース1	がん看護ブラッシュアップ研修コース	奥出 有香子	看護相談室、主任、がん看護専門看護師
コース2	がん看護スキルアップ研修コース	山口 聖子	がん治療センター、看護師長、緩和ケア 認定看護師

がん看護ブラッシュアップ研修コース

看護ケアの基盤となる知識の系統的理解、アセスメントスキル、アセスメントに基づく効果的な看護ケアの実践スキル、症状マネジメントスキル、看護ケアの評価スキル、など全般を概観して学ぶ。

がん看護スキルアップ研修コース

アセスメントに基づく効果的な看護ケアの実践スキル、症状マネジメントスキル、看護ケアの評価スキルなどについて、学習者のスキルアップニーズに応じて専門領域を1つ選択し、その専門領域の学習を深める。

がん看護ブラッシュアップ研修コース

看護ケアの基盤となる知識の系統的理解、アセスメントスキル、アセスメントに基づく効果的な看護ケアの実践スキル、症状マネジメントスキル、看護ケアの評価スキル、など全般を概観して学ぶ。

講義科目			回数	備考
がん病態・最新のがん治療	コンポーネント1 (チーム医療)	選択	3回* ¹	各自が設定した自己のスキルアップ目標達成に必要な講義を選択
	コンポーネント2 (基礎講義)			
がん看護事例検討		必修	4回	担当:奥出有香子(看護相談室、主任、がん看護専門看護師) 中野真理子(消化器内科病棟、主任、がん看護専門看護師養成課程修了) 一瀬直子(がん治療センター、がん看護専門看護師養成課程修了) 浅野美知恵(大学院医療看護学研究科、先任准教授) 平成22年9月～11月※
チーム医療宿泊研修	コンポーネント1 (チーム医療)	必修		9月第2土曜日・日曜日実施(1泊2日) 平成22年9月11日(土)・12日(日)
特別講義	がん看護学セミナー	選択	1回* ²	担当:医療看護学研究科がん看護 CNS 養成コース担当教員 平成22年7月10日(土)
	国際講演会			学内開催

*¹ コンポーネント1とコンポーネント2の授業のうち選択しなかった他の授業も自由に聴講可。

*² 国際講演会は、本学主催のものには積極的に参加することが望ましい。

修了証：コース修了時に修了証の授与 [修了証：コース名、個人の研修期間を含む]

がん看護事例検討

看護師のがん看護現象を分析的および総合的にみるスキルアップ支援を目的とする。アセスメント方法、援助方法、看護ケアの評価方法に関するスキルアップを学ぶ。各自が準備してきた事例をグループごとに検討することで、自分の課題を見出し、明日からの看護実践につなげることができる。

開催日程:全4回開催。 9月1日(水) 18:00～19:30

9月29日(水)、10月13日(水)、11月17日(水) 17:30～19:00

対象者:希望者(人数制限なし)。

事例検討は、毎回2～3名が担当する。グループ人数は、参加者数によって調整する。

順序	内容	担当
1回目	講義:問題解決技法	浅野
	事例検討:担当者提供の事例、あるいは、参加者提供の事例	浅野、一瀬
2回目	講義:事例検討の進め方	奥出
	事例検討:担当者提供の事例	奥出、中野、一瀬
3回目	事例検討:参加者提供の事例	奥出、中野、一瀬
4回目	事例検討:参加者提供の事例	奥出、中野
	講義:臨床現場での事例検討会の行い方	奥出

がん看護スキルアップ研修コース

アセスメントに基づく効果的な看護ケアの実践スキル、症状マネジメントスキル、看護ケアの評価スキルなどについて、学習者のスキルアップニーズに応じて専門領域を1つ選択し、その専門領域の学習を深める。

講義科目			回数	備考
がん病態・最新のがん治療	コンポーネント1 (チーム医療)	選択	2回*1	各自が設定した自己のスキルアップ目標達成に必要な講義を選択
	コンポーネント2 (基礎講義)			
チーム医療 宿泊研修	コンポーネント1 (チーム医療)	必修		9月第2土曜日・日曜日実施(1泊2日) 平成22年9月11日(土)・12日(日)
臨地実習	化学療法看護 8名	選択 必修	2日	担当: 山口聖子(がん治療センター、看護師長、緩和ケア認定看護師) 実習場所: がん治療センター 平成22年10月～11月※
	緩和ケア看護 8名	選択 必修	2日	
特別講義	がん看護学セミナー	選択	1回*2	担当: 大学院医療看護学研究科がん看護 CNS 養成コース 担当教員 平成22年7月10日(土)
	国際講演会			学内開催

*1 コンポーネント1とコンポーネント2の授業のうち選択しなかった他の授業も自由に聴講可。

*2 国際講演会は、本学主催のものには積極的に参加することが望ましい。

修了証: コース修了時に修了証の授与 [修了証: コース名、個人の研修期間を含む]

がん化学療法看護

看護師のがん化学療法看護へのスキルアップ支援を目的とする。有害事象(副作用)や合併症に対するアセスメント方法と看護援助方法に関するスキルアップを学ぶ。

※臨地実習

責任者: 山口聖子(がん治療センター看護師長、緩和ケア認定看護師)

担当者: 佐藤亮子(がん化学療法看護認定看護師教育課程修了)

実習生: 8名。1名ずつ実施

実習日程: 10月12-13、14-15、19-20、11月1-2、4-5、9-10、22と24、25-26

実習内容<1日目>化学療法室看護師の役割、他職種との連携、化学療法薬の特性と管理

<2日目>化学療法中の患者・家族の包括的アセスメント、セルフケア支援

*がん治療センターに関わる他職種との交流有り

緩和ケア看護

看護師の緩和ケア看護へのスキルアップ支援を目的とする。がん進行に伴う苦痛に対するアセスメント方法と症状コントロール、トータルペインと家族像把握の方法、トータルケアの方法に関するスキルアップを学ぶ。

※臨地実習

責任者: 山口聖子(がん治療センター看護師長、緩和ケア認定看護師)

担当者: 丸山正恵(緩和ケア認定看護師)

実習生: 8名。1名ずつ実施

実習日程: 10月5-6、7-8、21-22、26-27、28-29、11月11-12、16-17、18-19

実習内容<1日目>緩和ケアチームの看護師の役割、他職種との連携

<2日目>患者・家族のアセスメント、症状マネジメント、在宅支援

*奥野滋子先生(緩和ケア医)はじめ、がん治療センターに関わる他職種との交流有り